

教育委員会定例会議事日程

令和8年6月5日（金）午前10時00分

- 1 会議録の承認
- 2 一般報告
チーム担任制における横浜型スタートアップモデルについて
- 3 審議案件
教委第14号議案 横浜市いじめ問題専門委員会委員の任命について
教委第15号議案 横浜市少年自然の家指定管理者選定評価委員会委員の任命について
- 4 その他

令和8年6月5日

教育委員会定例会 一般報告

1 市会関係

- 5/15 本会議（第1日）役員改選
- 5/18 こども青少年・教育委員会（教育委員会関係）
- 5/20 本会議（第2日）議案上程・質疑・基本計画特別委員会設置・付託
- 5/22 本会議（第3日）一般質問
- 5/26 基本計画特別委員会（議案審査）
- 6/1 こども青少年・教育委員会（教育委員会関係）
- 6/4 基本計画特別委員会（採決）

2 市教委関係

（1）主な会議等

（2）報告事項

- チーム担任制における横浜型スタートアップモデルについて

3 その他

チーム担任制における横浜型スタートアップモデルについて

横浜市立小学校では、児童が複数の教員と関わりながら、安心して学校生活を送れるよう“チームで子どもたちを育む”環境を整えています。令和8年度からは、チーム・マネジャーを創出したチーム学年経営を基盤に、授業だけでなく学級担任業務も分担する「チーム担任制」を全国で初めて337校全ての小学校で展開しています。

さらに、未経験の教員がいきなり一人で学級担任業務をするのではなく、チーム・マネジャーと一緒に学級に入るなど、しっかりと準備期間を設ける、「新人教員を一人で担任にしない学校づくり《横浜型スタートアップモデル》」をモデル校で実施します。



《横浜型スタートアップモデル》では、学校全体で新人教員をサポートするだけでなく、さらにチーム・マネジャーが新人教員と一緒に、教科指導、学級運営、学級担任業務などを行うことで、研修で学んだことや指導教員からの助言・アドバイスを実践できる期間を確保するなど、新人教員が自信をもって業務に取り組めるようサポートしていきます。

チーム担任制・横浜型スタートアップモデル 現場からの声

■ 新人教員

当初は不安がありましたが、1か月が経ち子どもたちに親しみを感じるようになりました。仕事の流れも分かり、少しずつ慣れてきています。

スタートアップモデルの支援を受けたことで、本当に心強く、安心して働くことができます。

健康観察や給食指導など、日常の細かな場面でもすぐに相談できる環境があります。また、学年で教科分担をしているので、担当している教科の授業を繰り返すことで、自身の指導を振り返る機会にも恵まれています。

■ 子ども

- ・教科によって担当の先生が変わるだけでなく、給食でもいろいろな先生が来てくれるので嬉しいです。
- ・(いろいろな先生と)いっぱい話せるのが楽しいです。仲良くなれた感じがします。
- ・学年のどの先生にも相談できるので、とても良いと思います。

■ 保護者

- ・多くの先生に見てもらえて安心しています。
- ・学校に連絡したとき、学年のどの先生に伝えても情報が共有されていてよかったです。

【横浜市のチーム担任制の特長】

- ① チーム学年経営を基盤とした横浜独自の**チーム・マネジャー**を活用
全国に先駆けて(平成 30 年度～)学年全体をマネジメントする**チーム・マネジャー**を創出
チーム・マネジャーを生み出すために、29 時間非常勤講師を全校配置(令和7年度～)
- ② チーム担任制の三つの型で、様々な状況に**フレキシブル**に対応
学年全体をマネジメントする**チーム・マネジャー**の配置により、年度途中にも子どもの実態や、
急な欠員等に対応するための効果的な**チーム担任制**の仕組みを選択できる
- ③ 授業以外の**学級担任業務等をチームで分担**し、組織的な取組を推進
教科分担だけでなく、朝の会や給食の時間等も複数で担当する
担任一人で学級を抱えず、複数教員が学級担任として業務に携わる

【一つの学級を複数人体制で運営するチーム担任制の例】

